



報道で紹介された美瑛高校 13

◆令和6年7月23日(R6. 8. 8 北海道新聞)

本校は北海道教育委員会の指定事業「MA+CHプロジェクト」の上川唯一の指定校となりました。今後3年間町と協働して町の人たちと地域課題の解決に取り組みます。探究学習や授業、ボランティア活動などで積極的に町と関わり、体験し、様々なことに挑戦していきましょう！！

【美瑛】美瑛高は、生徒と地域が連携して地域の課題解決を行う、道教委の地学協働まちづくり推進事業「北海道MA+CH(マッチ)プロジェクト」の実施校として上川管内で唯一指定を受けた。同校は3年間、補助金を活用しながら、学校の魅力づくりと美瑛の地域活性化を狙う。事業は地域を担う人材を育てようと本年度からスタート。全道では各管内から1校ずつ計14校。上川管内からは応募した同校だけが指定を受けた。

各実施校は、自治体や地元の農商工業団体などとお互いに意見を交わしながら地域課題の解決に向けた方策を実現するための「コンソーシアム」を新たに立ち上げる。本年度120万円の補助金が付いた美瑛高では秋ごろの設立を目指す。

美瑛町や道教委は7月23日に町民向けの説明会を町内で開き、美瑛高生の保護者や卒業生ら約100人が参加した。実施の目的について、道教委は「生徒には将来の目標づくり役に役立ててもらい、地域住民にはまちづくりに対する当事者意識を持ってもらいたい」と説明した。角和浩幸町長は「町民が美瑛高の熱いサポーターとして活動してほしい」と呼び掛けた。

(山中悠介)

美瑛高「地学協働」校に指定 地域と連携、課題解決



美瑛高の地学協働まちづくり推進事業についての町民向け説明会